

令和３年度における認知症の理解促進に向けた取組(案)

目 的

都民の認知症に関する理解促進を図り、認知症の人とともに暮らせる社会の実現に向けた機運を醸成する。

令和３年度における主な取組（案）

認知症シンポジウム ＜継続＞

【概 要】世界アルツハイマーデーを記念し、都民向けに認知症に関する講演、パネルディスカッション等を実施する。

【時 期】令和3年9月

【規 模】1回(500名程度)

【予算額】600万円

東京都認知症希望大使(仮称)の設置＜新規＞

【概 要】東京都の認知症本人大使を任命し、シンポジウムの場などで体験等を語ってもらうなど、認知症の本人からの発信を支援する。

※認知症本人大使「希望大使」

国は、認知症施策推進大綱に掲げる「普及啓発・本人発信支援」の取組として「希望大使」を任命しており、各都道府県にも「地域版希望大使」を設置することを目指している。

認知症体験型VRによる普及啓発 ＜新規＞

【概 要】スマートフォン等を活用し、自宅等においてVRで認知症の疑似体験ができるツール及び「知って安心 認知症」パンフレットを配布することにより、認知症に対する正しい理解の促進を図る。

【時 期】令和3年秋頃

【規 模】850ライセンス

【予算額】400万円

認知症サポーターの養成 ＜継続＞

【概 要】民間企業等における養成講座開催を支援する。
また、都の新規採用職員に対して養成講座を実施する。

オレンジ・ライトアップ＜継続＞

【概 要】世界アルツハイマーデーの前後に、都庁舎をオレンジ色にライトアップし、都民の認知症に関する意識啓発を図る。